

## 第3回審議会における意見と基本計画案への反映状況

| 区分    | 意見  | 反映状況(施策案)   |
|-------|---|---|
| 妊娠・出産 | 医療機関相互と産婦人科との連携や、包括支援センターとの密な連携が大事。連携を強化するということを掲げていただきたい。                        | リスクの高い妊産婦に対する適切な支援を実施するため、行政が核となり、産婦人科医、医療機関、助産師等関係機関による連絡・連携体制を整備します。  |
|       | 意識がない人を変えるには、当事者に近い人にこういう内容がいかにかに届くかということが重要。保育園の先生、地域のママ友、学生等とかをターゲットにして伝えることが必要 | 各地域の子育て支援情報を収集し、子どもを持つ親や子育て支援NPO等が簡単にアクセスできるようなポータルサイトを開設するとともに、SNS等の活用により、効果的な情報の発信を図ります。  |
|       | 「育てられないなら、出産をあきらめたら」という選択肢ではなく、授かった命を、産み、そして社会で育てていくということが必要                      | 子どもが授からないが子育てをしたい人について、養子縁組や里親委託を推進します。   |
| 子育て   | 「子育て」の文面がほとんど見当たらない   | NPO・高齢者・大学生・社会福祉法人・企業等子どもの育ちを支援する人たちが集まる場を地域に設定するとともに、地域の身近な子育て支援の場等で活躍する「子育ての達人」事業を実施します。<br><br>多様な保育現場の状況に応じ、必要となる保育士等の養成、確保、定着、資質の向上のため、関係機関と連携し、施策を実施します。<br><br>事業所内保育や休日・夜間保育、病児・病後児保育事業等多様な保育環境を整備し、多様な勤務形態に応じた保育ニーズに対応します。 |
|       | 「地域づくり」ということに関しても求められている  |   |
|       | 企業との連携ということも必要  |   |
|       | 保育士への復職支援をして欲しい。子育てに伴って退職する事例が多い  |   |
|       | 医師、看護師、警察官など、8時間交代で仕事をしている者もいる。夜中働いていて預けることができるということをはっきり書いてほしい。                  |   |
| 総合的   | 教育費用は非常に高価。教育費の減税を入れられないか   | 子育て世帯等に対する税控除の拡大・充実などの優遇措置を国に要望し、経済的負担を軽減します。   |
|       | ひとり親の子どもとか、低所得者世帯の子どもに対する配慮というものが曖昧な感じがする。もう少し意欲のある言葉を盛り込んでいただきたい。                | 生活困窮家庭やひとり親家庭も子どもへの居場所づくりなど、教育の支援、生活の支援、経済的支援の施策を「京都府子どもの貧困対策推進計画」等に基づき実施し、すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく将来の夢を実現できる社会を目指します。   |

|         |   |  |
|---------|---|--|
| 教育・学習機会 | 妊娠中や出産後に夫婦で考えるライフデザインを描く機会の創出というのがあればよい。  | 産後や小学校に入学時等において、家族のライフデザインを考える機会を提供している市町村や団体に対し、支援を検討します。   |
|         | 中学・高校の段階で、生物学的に卵子の老化等教えたほうがよい。  | 高校生が医学的知見に基づく妊娠及び出産に関する正しい知識を学ぶための産婦人科医等による授業の実施を支援するとともに、妊娠や出産に係る公的支援等の内容も含め、ライフデザインをゲーム感覚で学べる機会を提供します。             |
|         | 妊娠・出産には、ほとんどお金がかからないことが若者には伝わっていない。行政からの支援がどれくらいあるかなど、お金が無くても家庭が作れる知識を伝える必要がある。高校生に人生ゲームでのカードのよに、教育の中で伝えていくべき。            |  |
|         | ライフデザインについて、高校も含めていただきたい。   | 高校や大学、企業においてライフデザイン研修を実施し、学生や若手社員等が仕事だけでなく、家庭を持つことや子どもを産み育てることも含め、人生設計を考える機会を提供するとともに、持続可能な仕組みを整備します。                |
| 雇用      | 結婚して子どもを持つための前提として経済的基盤が安定していないとその選択できないということがある。そのことを計画に書き加える必要がある。  | 若者が結婚や出産を決めるにあたって、雇用の安定が重要な要因であることから「京都府若者の就職等の支援に関する条例」に基づき定める「若者就職支援施策等実施方針」により、若者の就職支援施策や若者の職場への定着支援に関する施策を実施します。 |
|         | 育児休業制度はあっても利用しやすい環境となっていない。会社に規定はあるが利用しづらいという声が特に男性中心にある。仕事中心の職場風土とか、男女の役割分担意識とか、そういうところの啓発をしていかないと、育児休業制度が利用しやすい環境とならない。 | 企業に対し、長時間労働の是正や地域限定社員・短時間正社員等の多様な働き方の先進的な事例を提示しワーク・ライフ・バランスを推進します。   |
| 気運醸成    | 京都は文化都市なので、京都ならではの文化の中で子どもを育むといった文言を盛り込むことが必要   | 「京都府少子化対策府民会議」保健所単位で「地域府民会議」を設置し、オール京都体制で、結婚や子育てに温かい社会づくりに向けた府民運動を展開し、京都の暮らしや文化の中で子どもを育む「京都府の子どもを育む文化」を創造します。        |
|         | 府民会議について、「こういうところに制度上の課題がある」とか、「このシステムにこのような問題がある」とかを、広く府民が考えたり、共有する場ということで位置づけていただきたい。                                   | 府民会議において、少子化に係る課題について、府民、事業者、関係団体等と幅広く意見交換を図ります。   |